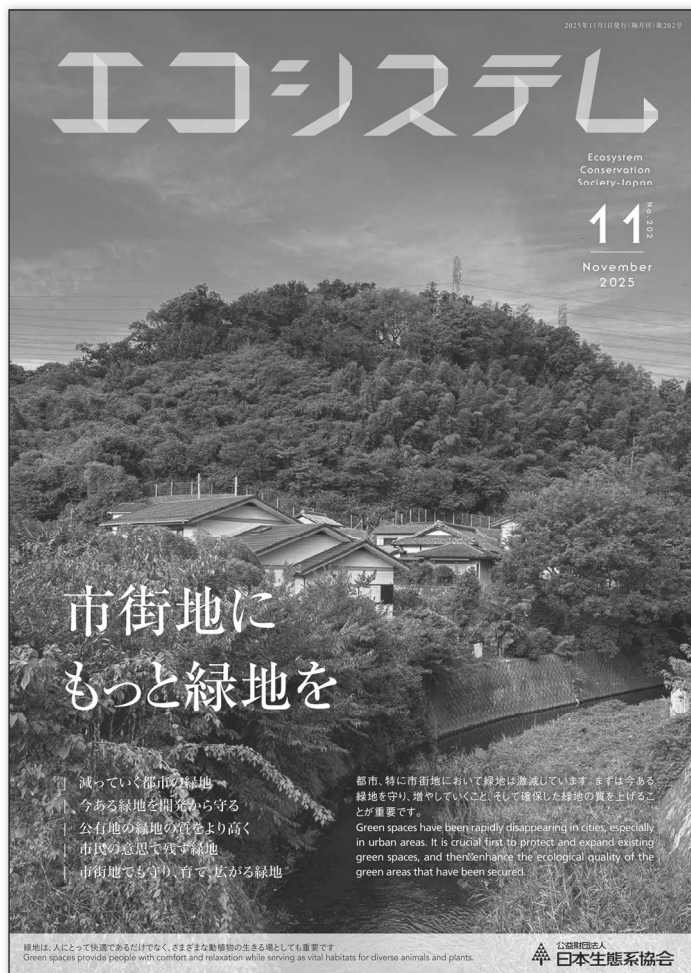


会報贈呈 キャンペーン

首長・議員・関連部署
メディア関係者
市民団体・グループ

限定

12.12^金まで



2025

11

市街地にもっと緑地を

市民の健全な生活を維持するためには、市街地においても、自然が必要です。

大きな自然は公有地として買い上げ、屋敷林や企業の敷地、個人の庭などはビオトープ化して、それらをつないでネットワークさせる——。このような、自然と共存した新しいまちづくりに取り組まなければいけない時

代を、私たちは迎えました。

世界では、2030年までに陸域と海域の30%以上の自然地を守り、ネイチャーポジティブの達成を目指すことが約束されています。

残すところあと5年。行政も企業も市民も、あらゆるレベルで生物多様性を豊かにする行動を起こす必要があります。

内容は裏面
をご覧ください

11月号 市街地にもっと緑地を

9月号 溢れる川、崩れる山

7月号 生命の源、海

5月号 チョウが舞うスキー場

3月号 消費する旅から再生する旅へ

1月号 市区町村の戦略 重要な『地域の生物多様性』

会報『エコシステム』
2025年のテーマ

30by30、ネイチャーポジティブの達成に向けて

取組を始めることを考えている、
取組をより積極的に進めたい、けれども、
どうしたら良いか分からない——。

市区町村のご担当者さま、
ぜひ当協会にご相談ください。

生態系ネットワークの構築をはじめとする
豊富な事業実績※と、世界の最新事例、
国内外の各種団体や人物との連携をもって、
みなさまのお仕事をお手伝いいたします。

※事業の実績は、協会webでご覧いただけます。

お問い合わせ
ご相談

公益財団法人 日本生態系協会
キャンペーン担当 あて
fax.03-5951-2974
head_office@ecosys.or.jp

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



公益財団法人
日本生態系協会

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル
Tel.03-5951-0244 Fax.03-5951-2974 www.ecosys.or.jp



会報『エコシステム』バックナンバー

2025年 11月号 市街地にもっと緑地を



都市、特に市街地において緑地は激減しています。まずは今ある緑地を守り、増やしていくこと、そして確保した緑地の質を上げることが重要です。

2025年 9月号 溢れる川、崩れる山



近年、雨の降り方が激しくなってきました。洪水による被害を抑えること、野生の生きものの生息・生育の場としての環境を再生することの両立が求められています。

2025年 7月号 生命の源、海



「生命の源」、海。私たちにまざまな恵みを与え、地球規模の物質の循環を担うなど、あらゆる生命の土台となっています。日本の海では、今、何が起きているのでしょうか。

2025年 5月号 チョウが舞うスキー場



日本の草原が減っています。スキー場が賑わうのは冬だけではなく、春から秋、その草原は生きもので賑わっています。スキー場の草原としての価値を探ります。

2025年 3月号 消費する旅から再生する旅へ



日常を離れ、旅先での美しい自然に活力を得る人も多いでしょう。自然を消費するだけではなく、再生の一役を担う旅もいいものです。

2025年 1月号 市区町村の戦略 重要な『地域の生物多様性』



多様な生きものを守るためには、市区町村が生物多様性地域戦略をつくり、企業や市民も協力する必要があります。

- 今月号を含む過去6号が対象です。ご用意分が無くなり次第、キャンペーンを終了します。予めご了承ください。
計4冊以上の場合、送料をご負担ください(着払いのゆうパックでお送りします)。



03-5951-2974 (キャンペーン担当あて)



head_office@ecosys.or.jp

お取寄せ内容・お届け先

お取寄せ内容 お求めの号数の、冊数をお書きください。

2025年 11月号× 冊 2025年 9月号× 冊 2025年 7月号× 冊 2025年 5月号× 冊 2025年 3月号× 冊 2025年 1月号× 冊

お届け先 あなたのご所属先にお送りします。

ふりがな
お名前

首長・議員・関連部署
メディア関係者
市民団体・グループ

限定

ご所属

〒

電話番号

—

ご所属の確認のため、電話を差し上げる場合があります。

e-mail

@